

※新型コロナウイルスの影響により、掲載している内容が変更となる場合があります。
最新情報につきましては図書館のホームページ【<http://kushirolibrary.jp/>】をご覧ください。

企画展

「没後 15年 文芸評論家・小松伸六の仕事」 7/31 (土) ~10/24 (日)

企画展「没後 15年 文芸評論家・小松伸六の仕事」が始まりました！釧路市出身の文芸評論家・小松伸六は、文芸誌『文学界』の「同人雑誌評」を担当し、多くの新人作家を発掘しました。本展では、そんな小松伸六の仕事ぶりについて関連資料を展示しています。また他の作家たちとの関係性や、故郷である釧路との繋がりについても紹介しています。

企画展関連イベントについてご案内

★講演会「小松伸六と釧路—故郷を語り続けた文芸評論家」

小松伸六が釧路で行った講演会・座談会と、啄木を巡る女性たちや原田康子、鳥居省三、更科源蔵、土屋祝郎ら釧路ゆかりの人について書き残したもの、そして抱き続けた故郷への想いに触れます。講師：盛 厚三（日本近代文学研究者・元『北海文学』同人）

●開催日時 8月1日(日) 13:30~15:00

●会場 7階・多目的ホール（定員50名、事前申込制）

※事前申込の方から、優先してご案内します。お席に余裕がある場合、当日参加も受け付けます。

★郷土史家によるトークイベント「北大通の記憶を伝える」（共催：釧路短期大学）

現在の北大通はかつて西幣舞と呼ばれ、文芸評論家・小松伸六の生家である小松商店がありました。第一部では、まちの変遷という観点で釧路の歴史をひもときます。第二部では、文学作品の舞台として登場する北大通について解説します。講師：木村浩章（釧路観光ガイドの会副会長）、佐藤宥紹（釧路短期大学講師（非常勤））

●開催日時 9月12日(日) 13:30~15:00

●会場 7階・多目的ホール（定員50名、事前申込制）

●参加申込 参加受付中！文学館窓口もしくはお電話 0154-64-1740 へご連絡を。

Monthly 朗読会

8月8日(日) 13:00~13:30 会場:文学館 (定員20名 申込制) 申込先:文学館

朗読: 釧路リーディングサークル VEGA 佐々木健・尾越麻代

作品: 小松伸六『美を見し人は』より「太宰治」

太田治子「鑑賞—父親というもの」(太宰治『人間失格』集英社文庫収載)

9月19日(日) 13:00~13:30 会場:文学館 (定員20名 申込制) 申込先:文学館

朗読: ジスイズ朗読会

作品: 未定 ※文学館だより9月号でお知らせ予定です。